

## 5 地区組織事業

### (1) 保健補導員会

保健補導員組織は、昭和24年、厚生省（厚生労働省）が「国保保健施設拡充強化に関する通知」で、保健指導のための住民組織として保健補導員の設置を市町村に呼びかけました。長野県においては、当時、すでに類似の住民組織が組織されている市町村もあったこと、また、昭和46年に設立された長野県国保地域医療推進協議会により、未組織の市町村に設置の促進が図られたことなどから、順次、全県的な広がりを見せ、令和6年度は55市町村（全77市町村中）において組織されています。

旧佐久市・臼田町・望月町・浅科村にもそれぞれ保健補導員会が組織されていました。新佐久市発足にあたり、新市においても、地域の健康づくりの担い手として「自分の健康は自分たちでつくる」という意識の定着を図るため組織していくこととなり、合併とともに平成17年4月1日設立されました。

保健補導員は、約30～50世帯に対して1名の割合で区長により推薦され、市から任期2年間の委嘱を受けて、現在、第11期682名で活動しています。

健康意識の向上のための研修会（年4回）や研究大会の参加のほか、研修会等で学んだことを自分の家庭や地域へと広めるための地区自主活動、健診の受診勧奨、結核・肺がん検診への協力、市の離乳食教室での託児ボランティア、健康づくりのためのアンケート調査の実施など幅広い活動をしています。

### (2) 佐久市食生活改善推進協議会

食生活改善推進協議会は、市・保健福祉事務所が実施する養成講座の修了者と、健康づくり・食生活改善に関心のある者によって組織されており、「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、まず会員自らが健康づくりの正しい知識と技術を学習し、よい健康生活の実践者を目指します。そのうえで、家庭や地域の人々に食生活改善を中心とした健康づくりの普及定着を推進することを目的としています。

昭和42年長野県食生活改善推進協議会が発足し、各保健福祉事務所単位に支部を置き、管内市町村単位の組織をまとめています。佐久市では平成元年より市に事務局がおかれ、佐久市食生活改善推進協議会として活動を続け、現在は96名の会員で食生活を通じたボランティア活動を続けています。

会員相互の資質向上を図るための研修会や大会への参加の他、各地区での料理講習会、健康づくり佐久市民のつどいや国際交流事業への参加、ふれあいサロンなど様々な場面において活動しています。